

(4) 発育状態の世代間比較 (表5、図7、図8)

① 身長

子世代（令和7年度の調査結果）と親世代（30年前の調査結果）の身長を比較してみると、男子は7～15歳で親世代を上回っています。女子は、5～8歳、10歳および13～16歳で親世代を下回っています。

また、親世代との差を年齢別にみると、男子は12歳で1.9cm、女子は14歳および16歳で0.8cmが最も大きくなっています。

② 体重

子世代と親世代の体重を比較してみると、男子は5～6歳および15歳～17歳を除く各年齢で親世代を上回っています。女子は5～9歳および12～17歳で親世代を下回っています。

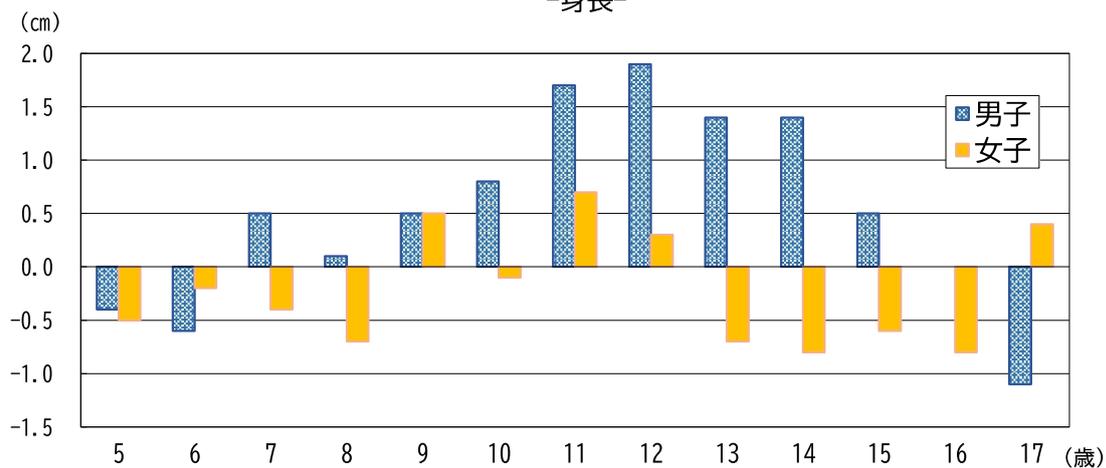
また、親世代との差を年齢別にみると、男子は12歳で2.0kg、女子は16歳で1.9kgが最も大きくなっています。

表5 子世代と親世代の年齢別体格の比較

区分	学校種別	学年	年齢	身長 (cm)			体重 (kg)		
				令和7年度	平成7年度	差(R7-H7)	令和7年度	平成7年度	差(R7-H7)
男子	幼稚園		5歳	110.3	110.7	△ 0.4	18.9	19.2	△ 0.3
	小学校	1年生	6歳	116.4	117.0	△ 0.6	21.2	21.7	△ 0.5
		2年生	7歳	122.7	122.2	0.5	24.0	23.8	0.2
		3年生	8歳	127.9	127.8	0.1	26.8	26.7	0.1
		4年生	9歳	133.9	133.4	0.5	30.4	30.0	0.4
		5年生	10歳	139.7	138.9	0.8	34.7	33.5	1.2
		6年生	11歳	146.4	144.7	1.7	39.2	37.5	1.7
	中学校	1年生	12歳	153.8	151.9	※1.9	44.8	42.8	※2.0
		2年生	13歳	160.8	159.4	1.4	49.4	48.7	0.7
		3年生	14歳	166.3	164.9	1.4	54.6	53.9	0.7
	高等学校	1年生	15歳	169.1	168.6	0.5	57.7	59.5	△ 1.8
		2年生	16歳	170.0	170.0	0.0	59.7	60.9	△ 1.2
		3年生	17歳	170.9	172.0	△ 1.1	61.6	63.2	△ 1.6
女子	幼稚園		5歳	109.7	110.2	△ 0.5	18.6	18.9	△ 0.3
	小学校	1年生	6歳	115.6	115.8	△ 0.2	20.9	21.1	△ 0.2
		2年生	7歳	121.3	121.7	△ 0.4	23.3	23.5	△ 0.2
		3年生	8歳	127.0	127.7	△ 0.7	26.2	26.5	△ 0.3
		4年生	9歳	133.6	133.1	0.5	29.7	29.8	△ 0.1
		5年生	10歳	140.6	140.7	△ 0.1	34.5	34.5	0.0
		6年生	11歳	147.2	146.5	0.7	39.7	38.5	1.2
	中学校	1年生	12歳	152.4	152.1	0.3	43.5	44.1	△ 0.6
		2年生	13歳	155.0	155.7	△ 0.7	46.7	47.7	△ 1.0
		3年生	14歳	156.5	157.3	※△ 0.8	48.9	50.3	△ 1.4
	高等学校	1年生	15歳	156.9	157.5	△ 0.6	50.2	52.0	△ 1.8
		2年生	16歳	157.4	158.2	※△ 0.8	51.5	53.4	※△ 1.9
		3年生	17歳	158.3	157.9	0.4	52.4	53.4	△ 1.0

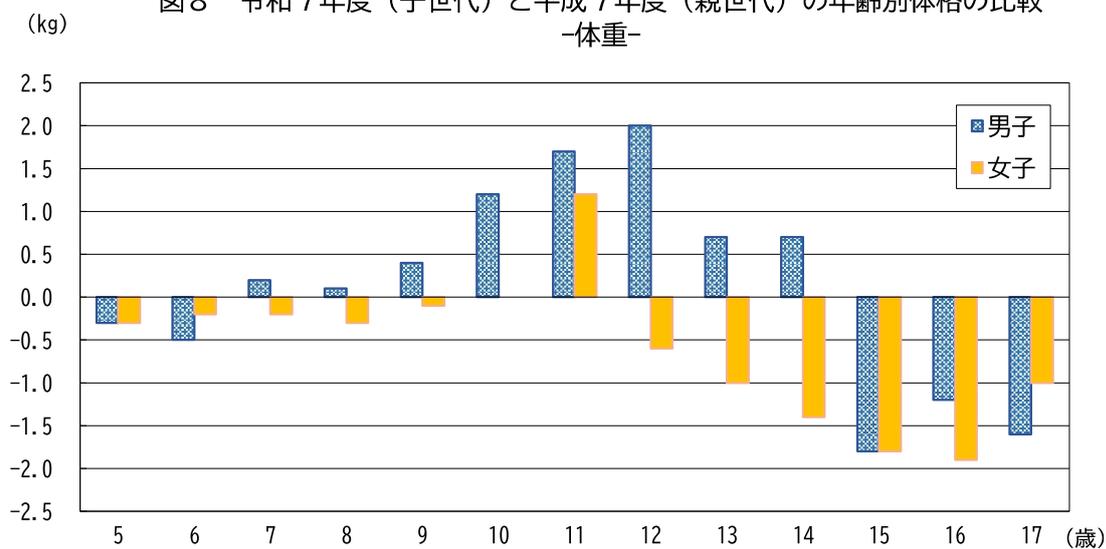
(注) 「※」印は、体格差の最大値を示します。

図7 令和7年度（子世代）と平成7年度（親世代）の年齢別体格の比較
-身長-



(注) 男子の16歳の子世代と親世代の差は「0.0」です。

図8 令和7年度（子世代）と平成7年度（親世代）の年齢別体格の比較
-体重-



(注) 女子の10歳の子世代と親世代の差は「0.0」です。

③ 11年間（小1～高3）の総発育量の比較（表6、図9、図10）

身長は6歳から17歳までの11年間の総発育量は、子世代（令和7年度の調査結果）が親世代（30年前の調査結果）よりも男子は1.1cm少なく、女子は0.3cm多くなっています。

また、体重の6歳から17歳までの11年間の総発育量は、子世代が親世代よりも男子は1.8kg、女子は1.2kg少なくなっています。

身長と体重の発育量を小学校の時期（6歳から12歳までの時期）と中学校・高等学校の時期（12歳から17歳までの時期）とに分けてみると、小学校の時期は、男女の身長、体重ともに子世代の方が親世代よりも多くなっています。中学校・高等学校の時期は、男女の身長、体重ともに子世代が親世代よりも少なくなっています。

表6 子世代と親世代の年間発育量

区分	歳時	身長 (cm)				体重 (kg)			
		子世代		親世代		子世代		親世代	
		年間発育量	計	年間発育量	計	年間発育量	計	年間発育量	計
男子	6歳(小1)～7歳(小2)	6.1		5.7		2.8		2.7	
	7歳(小2)～8歳(小3)	5.4		5.4		2.9		2.4	
	8歳(小3)～9歳(小4)	6.0	37.4	5.2	34.3	3.5	23.2	3.4	21.6
	9歳(小4)～10歳(小5)	5.1		5.6		3.8		3.2	
	10歳(小5)～11歳(小6)	5.6		5.9		3.5		4.4	
	11歳(小6)～12歳(中1)	9.2		6.5		6.7		5.5	
	12歳(中1)～13歳(中2)	6.8		8.2		5.2		6.0	
	13歳(中2)～14歳(中3)	5.3		6.3		5.1		6.0	
	14歳(中3)～15歳(高1)	3.0	16.9	3.3	21.1	4.3	17.3	5.2	20.7
	15歳(高1)～16歳(高2)	1.2		1.9		0.6		1.0	
	16歳(高2)～17歳(高3)	0.6		1.4		2.1		2.5	
11年間の総発育量	54.3		55.4		40.5		42.3		
年間発育量の最も大きい年齢	11歳～12歳		12歳～13歳		11歳～12歳		12歳～13歳 13歳～14歳		
女子	6歳(小1)～7歳(小2)	5.7		5.6		2.3		2.5	
	7歳(小2)～8歳(小3)	6.1		5.9		3.0		3.0	
	8歳(小3)～9歳(小4)	5.7	36.7	5.4	36.2	3.6	23.1	3.1	22.6
	9歳(小4)～10歳(小5)	6.8		6.7		4.4		4.2	
	10歳(小5)～11歳(小6)	7.0		6.8		4.6		4.8	
	11歳(小6)～12歳(中1)	5.4		5.8		5.2		5.0	
	12歳(中1)～13歳(中2)	2.5		3.0		3.1		3.9	
	13歳(中2)～14歳(中3)	2.1		2.2		2.6		3.0	
	14歳(中3)～15歳(高1)	0.7	5.9	0.6	6.1	1.5	8.6	2.7	10.3
	15歳(高1)～16歳(高2)	△0.1		0.5		1.0		0.1	
	16歳(高2)～17歳(高3)	0.7		△0.2		0.4		0.6	
11年間の総発育量	42.6		42.3		31.7		32.9		
年間発育量の最も大きい年齢	10歳～11歳		10歳～11歳		11歳～12歳		11歳～12歳		

- (注) ・ 年間発育量とは、身長、体重について1年間に増加した量を言います。例えば、平成19年度生まれの者の「6～7歳」の年間発育量は、平成27年度調査の7歳の体格から平成26年度調査の6歳の体格を引いたものです。
- ・ 11年間の総発育量は、6歳から17歳になるまでの発育量の合計です。
 - ・ 子世代とは、平成19年4月2日から平成20年4月1日までに生まれた者で、平成26年度調査の6歳、令和7年度調査の17歳です。
 - ・ 親世代とは、昭和52年4月2日から昭和53年4月1日までに生まれた者で、昭和59年度調査の6歳、平成7年度調査の17歳です。

図9 令和7年度（子世代）と平成7年度（親世代）の年間発育量の比較
（男子）

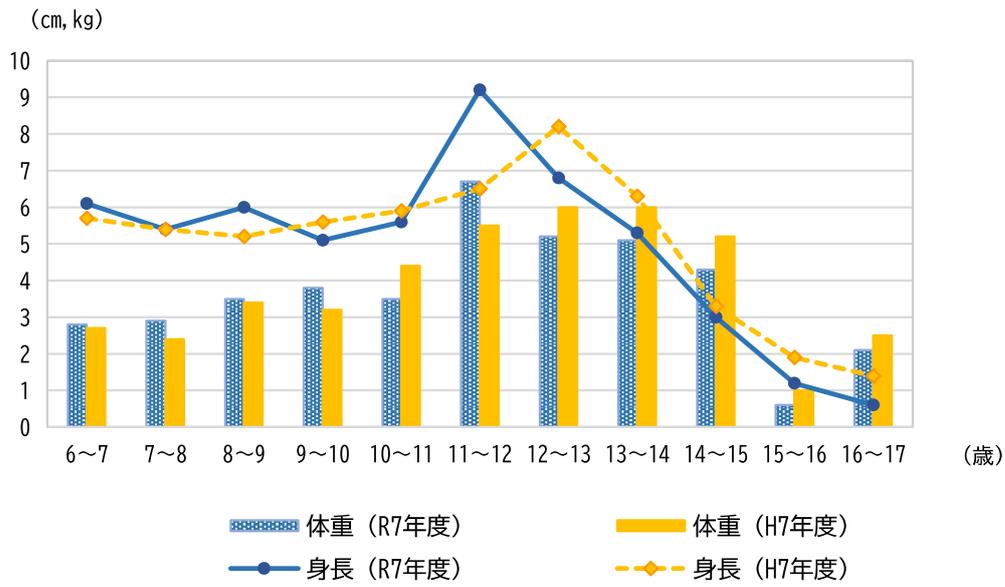


図10 令和7年度（子世代）と平成7年度（親世代）の年間発育量の比較
（女子）

